

学校点描

都会では夏のように気温が高いとニュースで言っていますが、最上ではまだまだ朝晩の冷え込みを感じます。

《M最上中学校》

NO.2

R5. 4. 26

担当：校長

4月20日（木）の6時間目の終了直前に合わせて、避難訓練を実施しました。今回は、職員室から火災が発生したことを想定しています。全員が避難場所に移動したところで、担当の先生から講評をもらいます。窓が開けばなしになっていた箇所もあり、まだこれから改善が必要なようです。

4月20日（木）の放課後、生徒会長のS・Rさん、副会長のK・Kさん、A・Sさん、議長のK・Wさん、Y・Kさんの5名が校長室にやってきて、校則見直しについてのプレゼンをしてくれました。昨年の12月から生徒にアンケートをとりながら進めてきたということ。どのように校則を変えた方がいいと思うのか、その根拠を示しながら、モニターにスライドを写して説明してくれます。

4月22日（土）は、PTA総会を開催しました。午前中は小学校のPTA総会でしたので、かけもちで参加の方もいらしたようです。その席上で、「保護者は生徒の教育にあたる最高のパートナーと捉えたい」と語りました。この思いは偽りのない気持ちですし、それができると考えています。

道を切り拓く姿

「12月ごろから話し合いを重ねて、校則改正について考えてきました。できるだけ今の時代にあったもの、またどうしてそう考えるかを説明します。そ



して、校長先生の承認を得て、生徒総会で全校生徒に提案したいと思います。よろしくお願いします。」S会長の校則改正の目的についての説明のあと、生徒会役員の5名がひとり一人、旧の校則と新の校則の違いと改正する根拠を説明してくれました。

頭髪の髪型やパーマについて、髪留めのピンについて、整髪料や制汗剤について、女子用制服にスラックスの導入とワイシャツやリボンの着用について、靴下の色の指定色を増やすことと、夏季のTシャツの裾だし、そして衣替えの基準日の考え方について、内容は豊富です。

もちろん、今できるものもあれば、すぐにはできないものもあります。

「ひょっとしたら、3年生のみんなが卒業するまでできないものもあるかもしれないよ。」とわたしが言っても、「全校アンケートから出てきた全校生の願いを少しでも叶えられたらいいです。」と答えます。

生徒会の生徒への思いが伝わる説明会でした。

PTA 総会の代休に、映画館に行きアニメ映画を観ました。アニメと言っても、今のアニメは大人が十分楽しめる作品ばかりです。「人生は、アニメや漫画から学んだ。」なんて言う人もいるほどです。

実はわたしの弟は、アニメの映画やテレビ番組の監督をしています。

思えば小さなときからマンガばかり描いていました。受験勉強もせずに自分の生み出したマンガを描いていましたね。親は、「マンガでは将来、食っていけない。」とよく言っていました。

弟は、高校を卒業して、一人上京して、今では、映画やテレビのアニメ作品の監督となりました。「自分の好きなことばかりしてはだめだ。他人の考えを受け入れる柔軟性がないと」と、いつだったか弟が語っていました。

親も歩んだことのない道を切り拓くのは大変なことです。そこには、自分の思いで道を選択する意志の強さと、時に他人の考え方も受け入れながら歩いていく柔軟さが必要です。生徒会役員の生徒たちが、校則という“ものさし”を懸命に考えている姿は、まさに自分たちで道を切り開く姿勢に見えました。

代休の日に観た映画のエンディング。スクリーンには制作に関わった数多くの人や企業の名前が下から上に流れます。その中に、作画監督として弟の名前も流れていきます。スクロールするたくさんの名前を見ながら、それぞれの立場で知恵を絞って作り上げた作品だったことを感じます。

映画館から作品を観た感想をメールで送ると、その夜に返信がきました。

「楽しんでもらえたならよかったです。また多くの方の期待にこたえられる作品をつくります。」と。



きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp